

インフラ魅力発信！



公式Instagram  はじめました！  
県土やまなし未来づくり

Follow me!!



山梨県内の...

- ◆社会資本整備や建設産業の魅力 ◆建設産業の仕事や現場の様子
- ◆インフラ施設の役割 などをご紹介します。

【問い合わせ先】山梨県県土整備部県土整備総務課景観づくり推進室  
TEL：055-223-1325（平日8:30～17:15）MAIL：kentosui@pref.yamanashi.lg.jp

未来のまちを豊かにする地域づくり

YAMANASHI 2022

山梨県建設産業担い手確保・育成産学官連携会議（山梨県県土整備部）



未来のまちを豊かにする  
地域づくり YAMANASHI 2022

安全・安心な生活を送るために必要な社会基盤を整備していくこと  
自然環境と調和し、文化的な生活を支える社会を実現していくこと  
建設産業はそうした未来のまちを豊かにしていく仕事です。



## introduction

理工学部等の建築系学科・土木系学科や工業系の専門学校などで、**インフラ整備**、**プランニング**、**自然との調和**を探求し、私たちの身近にある社会基盤及び建築物を整備・維持管理する分野やその関連分野へ！

### インフラ整備

くらしを支える道路や鉄道・橋・ダム・堤防・上下水道・電力等の社会基盤やマンションなどの住宅・学校・図書館・病院・オフィスビル・工場・ショッピングモール等の建築物といった構造物の探求

### プランニング

調査にもとづくまちの未来の姿の**プランニング**（企画や計画の立案）や**デザイン**などの探求

### 自然との調和

防災・減災・国土強靱化そして環境再生のための探求

※人々が安全・安心に使える社会基盤や建築物を整備・維持管理するためには自然と人との共生を考える必要があります、その必要性がなくなることはありません。



## 理工学部等の建築系学科・土木系学科、工業系の専門学校などへの 進学からつながる**3つの**しごと

### 街を描き、守る仕事(プランニング)

▶発注者/公務員、鉄道などの民間事業者

### 特定分野のプロフェッショナルな仕事

▶測量・設計者/建設コンサルタント、測量・設計業者など

### 構築物をかたちにする仕事

▶施工者/ゼネコン(総合建設業者)など



### 主な就職先

分野	プランニング	測量・設計	施工
公務員(技術職)	企画・計画		
ゼネコン等建設業者		設計	建設工事
ハウスメーカー	企画・計画	設計	建築工事
建設コンサルタント※1	企画・計画	設計・調査	
設計事務所(建築設計)	企画・計画	設計	
測量・設計	企画・計画	測量・設計	
地質調査		調査	
デベロッパー※2	企画・計画	設計	
空間プロデュース・ディスプレイ※3	企画・計画	設計	製作・施工
鉄道、高速道路	企画・計画	設計	
電力・ガス、通信	企画・計画	設計	
教員(公務員)・研究者	人材育成・新技術開発		
その他	製造業、IT(情報)、金融など多様な分野		

※1 建設コンサルタント 「社会基盤」と呼ばれるインフラ（道路・橋・ダム・港湾・上下水道・鉄道・空港その他）の整備において、主に官公庁などの公的機関から発注を受け、計画・調査・設計や管理運営に関わる、技術的なコンサルティングを行う企業

※2 デベロッパー 大規模な宅地造成やリゾート開発、再開発事業、オフィスビルの建設やマンション分譲などを行う土地や街の開発を行う企業・団体

※3 空間プロデュース・ディスプレイ 商業施設や博覧会等のイベント空間、商業空間、博物館等の展示空間等の企画・デザインや施工などを行う企業

・3つの仕事の分野ごとの記載は、分野に属する団体、企業に必ずしも該当するわけではありません。



**佐野 亮太**  
建設業 技術者 入社7年目

## Q. この仕事を選んだきっかけは？

学生の時から誰かの役に立つ仕事をしたいという思いがずっとありました。大学卒業まで建設業とはまったく関係のないことを学んでいたのですが、身近に建設業をしている人がおり、子供の頃から興味があったということもあって、地元地域の役に立ちたいという思いもあり建設業で働くことにしました。

## Q. 建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

建設業は地図に残る仕事とも言われます。自分が作ったものが地域の人々の生活を守ったり、生活を良くすることにも繋がります。また、私たちは災害時の早期復旧に取り組む使命も担っており、インフラの整備など人々の生活を支えています。このように社会貢献度が高く、人の役に立っていると感じられるのが建設業に携わる上でのやりがいだと思います。



**池谷 実莉**  
建設業 技術者 入社5年目

## Q. この仕事を選んだきっかけは？

私が小学5年生の時に起きた東日本大震災がきっかけです。地震や津波で多くの人々が命を落とし、ライフラインや交通網の寸断等の悲惨な状況を見て、私たちが生活していくためには土木の仕事が大きく関わっていることを知りました。幼い頃からものづくりが好きなおも、実際に現場に携わりたいと思い、高校で土木を学び現在の建設会社に就職しました。

## Q. 建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

建設業は「地図や形に残る仕事」です。造ることの楽しさや完成した時の達成感を実際に携わなければ実感できないので、自分の造ったものが沢山の人の役に立ち、利用されているのを見るととても嬉しです。また、住民の方々からの「ありがとう」と感謝の言葉を頂いた時は何よりも一番の達成感を感じます。人々の生活に密着し社会インフラを支える重要でやりがいのある仕事だと思います。



**土橋 修斗**  
建設業 技術者 入社1年目

## Q. この仕事を選んだきっかけは？

父が土木関係の仕事をしていて、学生の頃に職場体験で父の職場に行きました。その時に、人のために辛い顔を見せずに仕事をしている姿に憧れを抱きました。また、父が言った「俺がこの場所を作ったんだぞ」という言葉を聞いて、私も将来子供ができた時に同じことを胸張って言いたいと思い、この職業に就きました。

## Q. 建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

私がこの仕事をしていて魅力ややりがいをを感じる時は、なにもない場所から同じ現場の仲間とブロック積みやコンクリート舗装などをして一つのものが完成していく光景をみる時です。私は、まだこの仕事に就いて一年も経っていませんが、仲間と汗を流してやっていく大変さとやりがいを感じ、楽しく仕事をしています。



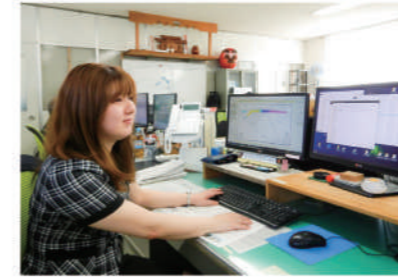
**橋本 実奈**  
建設コンサルタント業 技術者 入社3年目

## Q. この仕事を選んだきっかけは？

学生の頃は土木に関する仕事を考える機会はほとんどなかったのですが、大学で地質学に興味を持ち、地質に関わることができる仕事を探したのがきっかけでした。仕事を探中で、生活の中に当然のようにある道路や橋梁、何気なく遊んでいる公園などを設計している人がいることに気づき、感動するとともに興味を抱き、この仕事を選びました。

## Q. 建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

自分が設計したものが実際に出来上がったとき、また利用されているのを目にしたときに感動とやりがいを覚えます。それと同時に大きな責任も感じています。建設コンサルタントとして発注者の考えや条件を聞きながら、よりよい社会インフラを創造していくために知識を駆使して設計に挑む日々は、緊張感と面白味にあふれています。



**新村 知穂**  
測量設計業 技術者 入社6年目

## Q. この仕事を選んだきっかけは？

測量という言葉聞いた事はあっても、具体的にどんな仕事をするのかイメージ出来なかったのが興味を持ったきっかけです。建設業の工事の際に最初に行う仕事と知り、県内でも中部横断自動車道やリニアなど大きな工事がたくさんあった事もあり、後世に残っていくような仕事に私も関わりたいと思い入社しました。

## Q. 建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

作成した図面が地図として形に残っていくことです。携わった業務の成果が目に見えて分かる達成感とやりがいを覚えます。測量を通して自分の土地の具体的な場所が分かって良かったと言ってもらえるのもこの仕事の魅力かと思えます。道路や河川といった公共の大きな仕事から宅地の区画まで人々の暮らしに欠かせない仕事であると感じています。



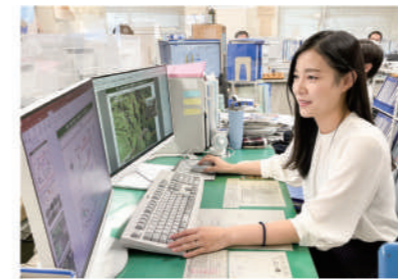
**河西 宏哉**  
造園建設業 技術者 入社3年目

## Q. この仕事を選んだきっかけは？

私は、小さい頃から「みどり」が好きで自然に興味を持ち始め、将来は自然に関わる仕事に就きたいと思っていました。中学生の頃、授業の一環として行われた「山梨学習」を行なっていくうちに「庭」に興味を持ち始め、庭を作る・管理する「造園業」に就職したいと思ったのがきっかけです。

## Q. 建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

現場に出て、徐々に仕上がりに向かっていき、完成したのを見た時です。仕上がりのきれいな姿ももちろんですが、去年よりも早く手入れが出来たり、今まで出来ない事が出来るようになった達成感など、自分自身の成長も感じられるところが造園の魅力だと思っています。



**五味 春菜**  
山梨県国土整備部道路管理課 採用8年目

## Q. この仕事を選んだきっかけは？

学生時代に利用していた甲府駅が、再開発により綺麗になっていく姿を見て、建設業に魅力を感じたのがきっかけです。また、都市計画だけでなく、道路や河川の整備など、県民の方々により安全・快適に過ごせるよう支える仕事であること、自分自身が利用している身近な施設の整備に携われる仕事であることに惹かれ、この仕事を選びました。

## Q. 建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

建設業の大きな魅力は、新たな構造物を整備し、さらに住みやすい県になるよう貢献できるところだと思います。以前所属した新環状道路建設事務所では、新たな高規格道路の施工に携わり、そのことを強く実感しました。また、現在の所属では被災した道路の復旧に携わり、県民の安全を守る非常に重要な仕事であることにとってもやりがいを覚えています。



**長田 留衣**  
山梨県国土整備部峡南建設事務所 採用6年目

## Q. この仕事を選んだきっかけは？

小さい頃からただ漠然と「人の役に立つ仕事がしたい」と考えていた私は、人々の生活を支える社会インフラの整備に携わることのできる建設業に強い魅力を感じました。また、自らの仕事を通じて生まれ育った山梨に貢献したいという思いや、業務の特性上幅広い知識を必要とする発注者に惹かれたのがきっかけで、現在の職を選びました。

## Q. 建設業の魅力ややりがいをどんな時に感じる？

たった一つの工事を完成させることだけでも様々なプロセスがあり、その過程には沢山の人の努力があります。それらを取りまとめ形にしていくのが発注者の責務であり、「もの」を作り上げる難しさ、そして楽しさを味わうことができるのが、この仕事のやりがいだと思います。また、自分が携わった仕事が形として残り、その効果を自分自身で実感することができるのも、建設業の大きな魅力の一つだと感じています。

## 専攻科建築科 の紹介 「甲府工業」

本学は山梨県内で唯一、夜間部(授業時間 18:05~21:20)で建築を学ぶことができる教育機関です。カリキュラムは建築に関わる基礎知識を体系的に学ぶための講義と、専門知識を総合して体得するため実習科目をバランスよく組み込んだ内容となっており、様々なキャリアを持った生徒(平均年齢 32歳)が切磋琢磨しながら、授業に取り組んでいます。  
(問い合わせ先: 甲府工業高等学校定時制教務係 055-252-4992)

### 二級建築士 について

二級建築士の指定科目である主要4科目(計画・法規・構造・施工)を中心とする講義及び実習を行い、2年間で40単位の専門科目を修得します。本学修了と同時に二級建築士の受験資格が取得でき、試験合格直後から建築士の免許登録が可能です。

動画で  
Check!!



若い力(キミ)を  
待っている



WE ARE  
ENGINEER



建設女子たちに  
聞いてみた!



# 建設の仕事 Q&A

建設の仕事に関する疑問にお答えします！

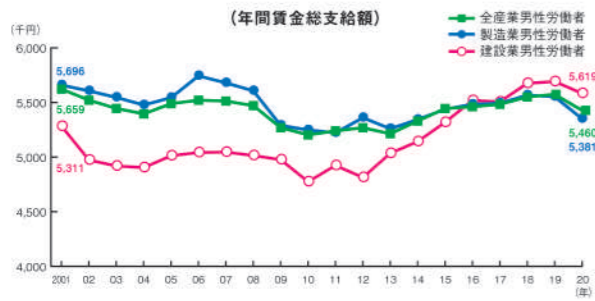
## Q 新3Kとは何か？

### A

新3Kとは、「給与が良い、休暇が取れる、希望が持てる」のこと。従来、建設産業に対する3K「給料が安い、危険、汚い」のイメージがあったため、平成27年に、国土交通大臣と日本経団連が「給料・休日・希望」といった新3Kを提唱し、建設技能者の処遇改善に向けた提案を行いました。

現在、国土交通省や都道府県が中心となり、賃金水準の確保や、安定的な仕事量の確保、週休2日を取り入れた工事への取り組みなどを行い、賃金水準が上昇するなど状況が変化してきています。

労働賃金の推移



(注) 1. 年間賃金総支給額＝決まって支給する現金給与額×12+年間賞与其他特別給与額  
2. 調査対象は、事業所規模10人以上の事業所に雇用される常用の男性労働者  
3. 労働者とは、生産労働者及び管理・事務・技術労働者

資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

建設業の男性労働者の賃金は、建設投資の増加を背景に設計労務単価の引き上げにより、2016年には他産業との格差がなくなり、2018年から他産業を上回った。

出典：建設業ハンドブック2021

## Q ICTの活用は？

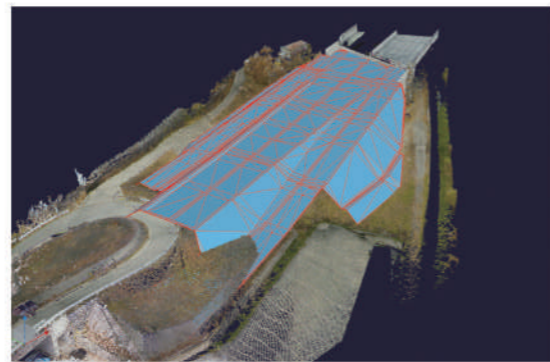
### A

測量においては、ドローン等により作業前の現場の状況を計測し、3D(立体)データを得て3D設計を行い、比較することで作業量を把握できます。

施工においては、衛星測位システム(GNSS)やセンサーを搭載した建設機械を用い、機械の動作を制御し、設計との誤差を限りなくゼロに近づけます。また、建設機械の自動化・無人化に向けた取り組みも積極的に推進されています。

検査においては、完成した構築物をドローン等により計測し、3D設計と実測が比較でき、PCで簡単に検査業務の処理ができます。

建設現場におけるICTの活用は、労働力削減による生産性の向上や、より安全な施工が可能となり安全性の向上につながっています。



<https://www.yamanashi-infra.jp>

私たちの身近にある「インフラ」が持っている隠れた「価値や魅力」を知っていただき、インフラへの興味や理解を深めていただくため、山梨県内にある登録有形文化財や土木学会推薦土木遺産に指定されたインフラ関連施設などの基本情報を一か所に集め発信しているサイトです。地域別、種類別(ダム・橋・道路・トンネル・砂防・治水発電施設など)に掲載、動画もあります。



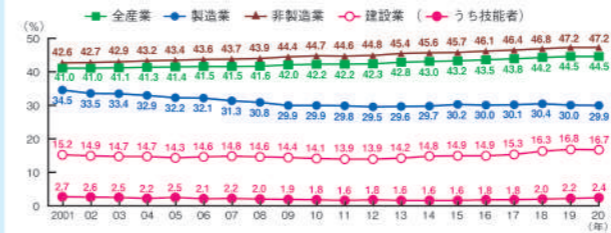
## Q 女性活躍の推進は？

### A

労働力調査によると、建設業に従事する女性の割合は、15%以下で推移する状況でありましたが、2018年以降16%台に上昇し増加傾向となっております。最近では、休暇等の制度面、ICT活用等の技術面から女性も活躍しやすく、仕事を継続し易い職場環境づくりを目指す企業も多くなってきています。

今や、建設業界で働く女性を表す土木女子、建設女子といった言葉が定着するなど、女性は建設業会社にはなくてはならない重要な戦力として注目されています。

就業者中に占める女性(事務職を含む)の比率



(注) 2011年は、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県を含まない

資料出所：総務省「労働力調査」

全産業の就業者中に占める女性の比率は44%程度で、非製造業を中心に上昇傾向にある。一方、建設業においても他産業に比べて低いものの上昇傾向にある。

出典：建設業ハンドブック2021

※けんせつ小町甲斐

平成29年3月に発足した山梨県内の建設業界で働く女性技術者[建設業者・国・県]で構成された組織、PRイベントや合同現場研修会など、多彩な活動に取り組んでいます。なお、「けんせつ小町」とは、建設業で働くすべての女性の愛称です。

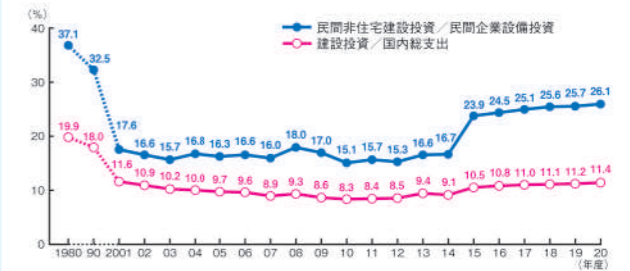
## Q 建設業の未来は？

### A

国が推進している「災害に強いくにづくり」のため、建物の耐震化や防災・減災施設の整備、老朽化した社会基盤の維持補修などが計画的に進められ、建設業には将来の安定的な仕事が見込まれております。インフラ整備、プランニング、自然との調和を通して、人々が安全安心で便利な住みやすい社会を形にして、それを維持管理しつづけていくのが建設業の仕事です。その役割はなくなることはなく、今後、防災・減災・国土強靱化を背景にますます重要になっていきます。

また、ICT化が進み、PC・タブレットを用いた業務が増えてきており、旧来のイメージとは変わった内容となってきております。

建設投資比率の推移



(注) 1. 2015年度から建設投資額に建築補修(改築・改修)投資額を含む

資料出所：内閣府「国民経済計算」令和3年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度、国土交通省「建設投資見直し」

国内総支出に占める建設投資の割合は長期にわたり低下傾向にあったが、2010年を底に上昇に転じた。これは、東日本大震災の復興需要や民間設備投資の増加で建設投資が増加したことによるものである。近年では、11%超で推移している。

出典：建設業ハンドブック2021